

2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

事業の状況

1. 助成事業

当財団は、情報科学の国際的研究交流を推進することを目的とした助成事業として、研究者海外派遣助成、外国人研究者交流助成及び特定分野研究交流助成を行う。

1.1 研究者交流助成

(1) 研究者海外派遣助成

将来を担うべき有能な若手研究者を対象に、海外で開催される情報科学に関する国際研究集会派遣のための渡航費及び滞在費の一部を助成する。

①募集・選考

助成募集要項及び申請書は財団 Web ページに掲載するとともに、大学等学術研究機関の情報系関連部署 203 か所に募集案内を郵送した。助成対象となる渡航期間は、2023年4月1日～2024年3月31日までとし、申請及び選考時すでに会議参加済みの場合も対象とした。助成金額については、渡航先地域別の定額とした。2023年4月10日～6月30日まで公募したところ、46件の申請があった。

2023年7月24日にオンライン会議システム(Zoom)で選考委員会を行い、慎重に審議し、内定1件を含む13件を採択とした。

②決定・交付

選考委員会の選考結果を受け、理事長が2023年度助成金交付対象に内定1件を含む13件を決定した。その後、渡航ビザ発給の遅れによる辞退1件及び自己都合のため渡航不可となった内定者より取下げ1件があり、当該2件については助成取り消しとした。

助成金交付総額：2,480,000円（助成総数 11件）

対象者及び詳細は下記表のとおり。

氏名・所属	参加国際会議	開催国	助成金額
田中 健人 北陸先端科学技術大学院大学先端 科学技術研究科 博士後期課程3年	18th International Conference on Evaluation of Novel Approaches to Software Engineering - ENASE 2023	チェコ	220,000円
多田 圭吾 立命館大学大学院情報理工学研究科 博士前期課程2年	International Joint Conference on Neural Networks -IJCNN 2023	オーストラリア	160,000円
谷津 直弥 電気通信大学大学院情報理工学 研究科 博士前期課程2年	The Genetic and Evolutionary Computation Conference 2023 - GECCO 2023	ポルトガル	220,000円

氏名・所属	参加国際会議	開催国	助成金額
手嶋 仁志 九州大学大学院システム情報科学府 博士課程 2 年	The 22nd ACM SIGGRAPH/Eurographics Symposium on Computer Animation - SCA 2023	アメリカ	250,000 円
高下 修聡 東京大学大学院学際情報学府 修士課程 2 年	SIGGRAPH 2023 - Immersive Pavilion	アメリカ	250,000 円
廣瀬 雅治 東京大学大学院工学系研究科 博士課程 5 年	SIGGRAPH 2023 - Emerging Technologies	アメリカ	250,000 円
Perera Maharage Nisansala Sevandi 国際電気通信基礎技術研究所 適応コミュニケーション研究所 研究員	17th International Conference on Network and System Security - NSS 2023	イギリス	220,000 円
三輪 祥吾 静岡大学大学院総合科学技術研究科 修士課程 2 年	INTERSPEECH 2023	アイルランド	220,000 円
山川 衛 京都大学大学院情報学研究科 修士課程 2 年	ACM Conference on Hypertext and Social Media 2023	イタリア	220,000 円
Michael Evan Santoso 立命館大学大学院情報理工学研究科 大学院 1 年	The 9th International Conference on Machine Learning, Optimization, and Data Science	イギリス	220,000 円
尾上 寛弥 京都大学大学院情報学研究科 修士課程 1 年	11th IEEE International Conference on Cloud Engineering - IC2E 2023	アメリカ	250,000 円

(2) 外国人研究者交流助成

将来を担うべき有能な外国人研究者又はそれを受け入れる研究者を対象に、日本で開催される国際研究集会参加、又は日本の研究機関において共同研究を行うための渡航費及び滞在費の一部を助成する。

① 募集・選考

助成募集要項及び申請書は財団 Web ページに掲載するとともに、大学等学術研究機関の情報系関連部署 203 か所に募集案内を郵送した。助成対象となる来日期间は、2023 年 8 月 1 日～2024 年 3 月 31 日までとした。2023 年 4 月 10 日～6 月 30 日まで公募したが、国内外ともに申請がなかった。

② 決定

対象者なし。

1.2 特定分野研究交流助成

ソフトウェア分野における情報技術の将来を見通した研究課題の提言を行うことを目的に、産学の研究者が協同で行う調査研究交流に対する助成であるが、本事業については休止している。

2. 競技会開催事業

将来を担う情報科学の若手研究者の育成のために、情報技術に関する競技会の開催及び関連する事項について以下のとおり行った。

(1) プログラミングコンテスト(ICPC2023 横浜大会)開催

競技開催費： 15,027,568 円

ICPC(International Collegiate Programming Contest)とは、大学院、大学及び高等専門学校の同一校の学生3人が1チームを構成しコンピュータプログラミングの正確さと速さを競うもので、ICPC Foundationが年1回、世界的規模で開催している国際大学対抗プログラミングコンテストである。世界大会出場のための選抜大会として世界各地で地区大会が行われており、本件のICPC2023 横浜大会はアジア地区予選に該当しており、東京工業大学と共同で開催した。

①経緯

2023 年度の ICPC については、2022 年度の ICPC 運営委員会において、2 年連続で開催協力校(ホスト校)を東京工業大学とし、その実行委員長に西崎真也教授(東京工業大学)を選任した。また、2023 年度 ICPC 運営委員会において、審判長に鶴川始陽准教授(東京大学)を選任し、横浜産貿ホールにおいて ICPC2023 横浜大会本選を開催することを決議し、理事長が決定した。

②実施概要

日程： 2023 年 11 月 25 日、26 日

場所： 横浜産貿ホール(神奈川県横浜市中区山下町 2 番地)

ワークピア横浜(神奈川県横浜市中区山下町 24-1)

主催： (公財)情報科学国際交流財団、ICPC 横浜大会実行委員会、東京工業大学

実行委員長： 西崎真也教授(東京工業大学)

審判長： 鶴川始陽准教授(東京大学)

主な基本ルール：

- ・同一の大学・短期大学・高等専門学校の学生3名とコーチ1名により1チームを編成する
- ・選手の参加資格についてはICPC運営委員会で定めた参加資格ルールに則る
- ・マシン(PC)はチームで1台のみ使用する
- ・印刷資料(辞書等)の持込は可、電子的なもの(電子辞書、携帯電話等)及び腕時計は不可
- ・設問に対し、正しく動くプログラムを作成した数(正解数)の多さを競う
- ・同数の場合は、提出までの所要時間の短さで判定し、誤答はペナルティとして時間を加える

使用言語： C、C++、Java、Kotlin、Python3

情報公開： Web ページ(<https://icpc.iisf.or.jp/2023-yokohama/>)に概要、ルール、結果、問題

等を適宜掲載、必要に応じて更新した。また、大会実行委員会 X(旧ツイッター、@icpcjapan)での情報更新も行った。募集に際し、全国の大学・高等専門学校 271 か所及び関係者に募集案内及び募集ポスターを送付したほか、開催時にはあらためて開催案内及び開催ポスターも送付した。

参加数： 国内インターネット予選 93 校 301 チーム

横浜大会本選 国内 34 校 50 チーム、海外 5 校 8 チーム 計 39 校 58 チーム

内容： 本選に先んじて、国内インターネット予選をコロナ禍以前と同様な形式で 2023 年 7 月 7 日に行った。国内予選競技ルールに基づき、所属校において所属校教員の監督のもと実施し、93 校 301 チームから選抜ルールに則り 34 校 50 チームを選抜した。その後、海外からは 4 年ぶりに 5 校 8 チームの参加登録があった。

2023 年 11 月 25、26 日に横浜産貿ホールにおいて 39 校 58 チームが一堂に会し本選を行った。国際大会であるため、進行や出題などのコンテストに関わることでは英語を使用し、5 時間にわたる競技を行った。コンテスト終了後、審判団からの問題解説があり、その後結果発表・表彰式を取り行った。終了後、4 年ぶりにオンサイトで懇親会を行い、国内外の選手を始めとするすべての参加者が交流を深めるとともに、併設したスポンサーブースで見聞を広めることができた。

運営全般は、実行委員、審判団のほかに、ICPC の OB/OG の協力を仰いで行った。

結果(大学順位)： 1 位東京大学、2 位東京工業大学、3 位大阪大学

(2) Asia Pacific Championship(アジア地区プレイオフ)への派遣

派遣先： ハノイ(ベトナム)

開催期間： 2024 年 2 月 29 日～3 月 3 日

内容： ICPC では世界を 8 地区に分けており、各地区で複数の大会が行われている。世界大会には各大会の優勝チームのほか、各地区での成績優秀チームが参加する。日本が所属するアジア(Asia Pacific)地区では、その選抜を行うためのプレイオフに当たる Asia Pacific Championship が今年度初めて開催された。

①選手及びコーチの派遣

派遣旅費等補助： ICPC2023 横浜大会上位 5 大学(東京大学、東京工業大学、大阪大学、京都大学、筑波大学)の 5 チームを対象に各 20 万円の旅費及び参加登録費補助を行った。

参加登録費補助： ICPC2023 横浜大会上位 20 位のうち、プレイオフ参加資格を有する 7 チーム(東京工業大学 2、京都大学 1、早稲田大学 2、東北大学 1、大阪大学 1)を対象に各 3 万円の参加登録費補助を行った。

派遣補助費総額： 1,210,000 円

結果： ICPC2023 横浜大会優勝でプレイオフ対象外の東京大学チームのほか、東京工業大学、京都大学、大阪大学の各チームが世界大会へ進出見込み。

②指導者の派遣

本競技会について運営協力を行うとともに、期間中に行われる今後の Asia Pacific Championship

開催に関わる会議に出席し、協議・検討を行った。

派遣対象者： 笈捷彦 (ICPC 運営委員長)、石畑清 (ICPC 運営委員)、西崎真也 (ICPC2023 横浜大会実行委員長)

派遣費総額： 181,797 円

(3) 世界大会への派遣

派遣先： ルクソール(エジプト)

開催期間： 2024 年 4 月 14 日～4 月 19 日

内容： コロナ禍の影響で延期されていた、第 46 回世界大会 (ICPC2021-22) 及び第 47 回世界大会 (ICPC2022-23) が行われ、当年度事業として派遣を行う。当初、両大会は 2023 年 11 月にシャルムエルシェイク(エジプト)での開催が予定されていたが、中東情勢の急激な悪化のため急きょ延期が決定し、後日開催場所・時期が変更された。

①選手及びコーチの派遣

派遣対象者： 4 チーム(東京大学 2 チーム、東京工業大学、京都大学)の選手及びコーチ

派遣補助費総額： 3,396,911 円(変更によるキャンセル料等を含む)

ICPC2021 横浜大会で選ばれた東京大学チーム及び ICPC2022 横浜大会で選ばれた東京工業大学・東京大学・京都大学チームをそれぞれ第 46 回世界大会及び第 47 回世界大会へ派遣。

②指導者の派遣

派遣対象者： 笈捷彦 (ICPC 運営委員長)、石畑清 (ICPC 運営委員)、西崎真也 (ICPC2023 横浜大会実行委員長)

派遣費総額： 637,750 円(変更によるキャンセル料等を含む)

大会期間中に行われる育成指導・運営に関する会議に参加のため派遣。

(4) ICPC に関わる予備練習会の開催

過去に行われた ICPC への参加経験者(OB/OG)の協力のもと、予備練習会を行った。

本選参加チーム全体のレベル向上、競技プログラミング界全体の活性化を目標に、2023 年 9 月 16 日～18 日にわたり国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて横浜大会本選に向けた強化合宿を行った。

参加者： 選手 60 名(16 大学)、スタッフ 7 名 計 67 名

開催補助費： 300,000 円

(5) ICPC2024 の開催

2024 年度 ICPC について、2024 年 12 月に横浜産貿ホール及び横浜シンポジア(神奈川県横浜市)において ICPC2024 横浜大会を開催することを理事長が決定した。なお、2023 年度に引き続き、開催協力校は東京工業大学、大会委員長は西崎真也教授(東京工業大学)が務める。

以上